

僕らの未来へ ～故郷の想いと環境を～

日時／7月21日（祝） 場所／指月山・倉江の浜

7月21日、本年度の青少年教育開発委員会事業である「僕らの未来へ～故郷の想いと環境を～」が開催されました。

「海の宝物探し」では、倉江の浜にて地球温暖化によって萩の海がどのように変わってきたのかの講義を受けました。次に、宝贝・桜貝といった南方にしか生息しなかった貝をゲーム形式で探すことにより、楽しみながら地球温暖化の進行具合を体感していただきました。

「山の宝物探し」では、指月山に残された貴重な自然を通して、環境保全の大切さを学習しました。そして「未来に残したい自然」というテーマで、参加者全員で大きな絵を描き、市役所ロビーにて展示を行いました。



最後に、10年後にも美しい自然を残せているか、10年後の自分に対して手紙を書き、タイムカプセルに入れて埋めると共に記念植樹を行いました。

この事業を終えて私たちは、子ども達がいつまでも安心して暮らせる地球環境を守らなければならないという決意を新たにしました。子ども達がいつまでも安心して暮らせる地球でありますように…。

青少年教育開発委員会 副委員長 波多野慎一

